

演習 I

女子大生の児童期と現在の母子密着の関連について

B 班 A12CB010 A12CB046 A12CB051
A12CB065 A12CB077 A12CB110

問 題

私たちが幼児期のころ、本人は自分と養育者（親）が一体となっている、自分が産んだ母親の一部であると考えている。つまり母親との関係は特に密接なものであると考えていることになる。このように母親と子は、親密な親子関係で結ばれていると考えられる（Bowly, 1969）。また近年では親子関係に関し、親への反抗よりむしろ親との情緒的結びつきの強化が指摘されている（山田, 1988）。特に母親と娘の関係性において「一卵性母娘」といった言葉も現代では使われるほどになっていることから、母娘関係の親密さが増していることが考えられる。

青年期に入ると、子供は依存と自立の葛藤である反抗期を迎える。反抗期の親子関係において、母娘関係では親密な関係を楽しむことができる（上西, 2000）。母子関係は発達によって変化し、それは相互に影響し合う。親子関係や心理的離乳などをどのように経験するかによって、母子とも内面的な成長する（上西, 2002）ということからも母子関係の発達において、母と娘では長期間、密接な関係を持つことができるということである。

今回母娘関係を対象とした理由は、被調査者が女子大学生であることが関連している。母と娘との関係には強い結びつきがあるとされる（水本・山根, 2010）ことや、その関係は他の関係を邪魔することがなく（Gleason, 1991）女性は母親との近い距離を生涯保持すると言われる（Fischer, 1991、渡辺 1993）ことから、母娘関係の密着度が高くなる要因として考えることができる。

児童期と定めた理由として、3歳くらいまでの記憶は想起することが困難であるとされる（丹羽, 2008）ことから、被調査者が現在と過去の母娘密着の比較を正確に想起することができる可能性の高い児童期の時期が妥当であると考えたためである。また現代の母娘関係が児童期の母娘関係と関連していると考えた理由として、内的作業モデルの主要な基礎となっているのは、圧倒的に環境や自己についての貯蔵情報であり、これらの情報の多くは個人の過去体験に由来している（久保田, 1993）という。これらのことを踏まえたうえで、現代の母娘密着と児童期の母娘密着を調査することが適していると考えたためである。

目 的

これらのことより、密接に関係する母子関係、特に母娘における児童期の親子関係に焦点を当て、現在の母娘関係の密着度にどのような関連があるのかを検討することを本研究の目的とする。

仮 説

児童期の母娘関係の密着度は現在の母娘関係の密着度に関係しているのではないだろうか。

方 法

1. 調査対象

被調査者：愛知県内の大学に通う女子大学生 113 名（平均年齢＝18.64、SD＝2.02）を被調査者とした。

調査日時・場所：2014 年 5 月 28 日大学内の教室において 13 時 20 分から 13 時 30 分まで実施した。

2. 調査材料

①児童期の母子密着尺度を新たに作成し、これを用いた。これは水本・山根（2010）らが使用した藤田（1998、2003）の母子密着を参考にし、児童期のころに経験したと考えられる行動の質問紙を作成した。質問項目は全 29 項目から構成され、言語的コミュニケーション、共行動、信頼関係に分類し、5 件法を用いて実施した。

表1 児童期の母子密着尺度

1. 小学生のころ、母は私の話を聞いてくれた。
2. 小学生のころ、私は母の手伝いをした。
3. 小学生のころ、母と一緒に遊んだ。
4. 小学生のころ、母は私の考えを理解していた。
5. 小学生のころ、買い物に行ったとき、買うものは母に決めてもらっていた。
6. 小学生のころ、母は私が困ったとき、助けてくれた。
7. 小学生のころ、一緒に買い物に行っていた。
8. 小学生のころ、母は私が病気のととき、看病してくれた。
9. 小学生のころ、一緒に出かけることが少なかった。
10. 小学生のころ、私は母がすることを真似したがっていた。
11. 小学生のころ、私は母に自分の気持ちを打ち明けられた。
12. 小学生のころ、母は私が嫌いなものを理解していた。
13. 小学生のころ、母は私が欲しいものや食べたいものを理解していた。
14. 小学生のころ、母は励ましの言葉をくれた。
15. 小学生のころ、私は母の期待に応えなかった。
16. 小学生のころ、私は自分から母に話しかけた。
17. 小学生のころ、母は些細な失敗で私をひどく責めた。
18. 小学生のころ、夜は母と一緒に寝ていた。
19. 小学生のころ、私は学校の話をした。
20. 小学生のころ、母は私がすることを受け入れてくれた。
21. 小学生のころ、母は、理不尽なことで叱ったり怒ったりした。
22. 小学生のころ、私と母の会話は途切れやすかった。
23. 小学生のころ、私は友人との会話の方が、母との会話より楽しかった。
24. 小学生のころ、お互いに挨拶をしなかった。
25. 小学生のころ、母との会話は楽しいものだった。
26. 小学生のころ、母は私の学校の準備を手伝ってくれた。
27. 小学生のころ、私は母のようになりたいと思っていた。
28. 小学生のころ、母と私はぎこちない会話だった。
29. 小学生のころ、私は友人の話をした。

②現在の母子密着度を調査するため、藤田（1998）の母子密着尺度を用いた。質問は全28項目から構成され、7件法で実施した。その質問項目を表2に示した。

表2 藤田(1998)の母子密着尺度

1. 私が洋服を買う時には母がついて来てくれることがよくある。
2. 私は買い物をする時に母と一緒に出かけることがよくある。
3. 外に出ているとき母と車の中で運転を取ることがよくある。
4. 私は小学校時代は母と一緒に風呂にはいることがよくあった。
5. 私は母を一人泊めたいと思うことがある。
6. 私は母を失ったら生きる力をなくしてしまうと思う。
7. 私は部屋へ母が入ってきてても別に気にならない。
8. 母は私の友達のことをよく知っている。
9. 私と母はよく似ていると言われる。
10. 私の入学式の入学式には母がついて来ようとした。
11. 私は母にしかられると思いたくない。
12. 母は、私のことを常に思ってくれている。
13. 私は母に何かを頼まれたら所りづら。
14. 私が考えていることを母はよく知っている。
15. 私は母の顔を見ると何となく安心できる。
16. 私は母の考えは、何となく分かっているように思う。
17. 私が死気でなさそうであったら私の母は私を励ましてくれる。
18. 母が何かを探していたら私も一緒に探してあげる。
19. 母はその日の私が食べたいものを良く心掛けてくれる。
20. 私は、何かの事柄を話しているときにも父よりも母に話しかけたいことが多い。
21. 私は母と毎日何らかのコミュニケーションをとっている。
22. 私はこづかいが必要なきは母に頼む。
23. 私は母に学校であったことや、仲間のことをよく話す。
24. 私は自分の進路や進学のさいに母とよく相談をした。
25. 父と母がけんかをしていると母に味方することが多い。
26. 私のこづかいは母からもらうことになっている。
27. 私は、母の日や母の誕生日には、お祝いの品物したり何かをプレゼントすることがある。
28. 私は母の喜びが良いか悪いかを何となく察知できる。

結果

初めに、データ整理を行った。得られたデータに整理番号をつけ、質問項目に欠損があれば、データ処理の対象外とした。有効回答数は100名であり、すべて女性であった。

まず、児童期における母子密着尺度29項目の平均値と標準偏差を算出した。天井効果がみられた項目は「小学生のころ、母は私の話を聞いてくれた。」「小学生のころ、母と一緒に遊んだ。」「小学生のころ、母は私が困ったとき、助けてくれた。」「小学生のころ、一緒に買い物に行っていた。」「小学生のころ、母は私が病気のととき、看病してくれた。」「小学生のころ、一緒に出かけることが少なかった。」「小学生のころ、母は励ましの言葉をくれた。」などの15項目であった。フロア効果のみられた項目はなかった。

1. 児童期の母子密着についての因子分析

児童期の母子密着尺度29項目を4因子に設定した。因子1を「信頼」、因子2を「会話」、因子3を「母への憧れ」、因子4を「期待に応える」とした。児童期（小学生のころ）の因子分析を行い、その結果を表3に示した。

表3 児童期の母子密着についての因子パターン

因子名	質問項目	因子			
		1	2	3	4
信頼	小学生のころ、母は私が困ったとき、助けてくれた。	.861	-.073	.081	.002
	小学生のころ、母は私の話を聞いてくれた。	.856	.071	-.155	.156
	小学生のころ、母と一緒に遊んだ。	.797	-.010	-.138	-.014
	小学生のころ、母は私が欲しいものや食べたいものを理解していた。	.757	-.167	.112	-.023
	小学生のころ、母は励ましの言葉をくれた。	.699	-.132	.340	.084
	小学生のころ、母は私の考えを理解していた。	.660	-.029	.268	.232
	小学生のころ、母は私の学校の準備を手伝ってくれた。	.607	-.049	-.137	.098
	小学生のころ、一緒に買い物に行っていた。	.547	.229	-.188	-.171
	小学生のころ、母は私がすることを受け入れてくれた。	.517	.073	.120	-.030
	小学生のころ、母は私が病気のとき、看病してくれた。	.497	.172	-.154	-.309
	小学生のころ、母は私が嫌いなものを理解していた。	.439	-.012	.257	-.039
	小学生のころ、母との会話は楽しいものだった。	.428	.401	-.043	.144
会話	小学生のころ、私は自分から母に話しかけた。	-.102	.782	-.013	.376
	★小学生のころ、私と母の会話は途切れやすかった。	.018	.746	-.016	-.090
	★小学生のころ、母と私はぎこちない会話だった。	-.221	.699	.242	-.225
	小学生のころ、私は学校の話をした。	.324	.598	-.175	.217
	★小学生のころ、一緒に出かけることが少なかった。	.049	.549	-.088	-.147
	小学生のころ、私は友人の話をした。	.004	.465	.004	-.004
	小学生のころ、私は母の手伝いをした。	-.016	.431	.046	.104
	★小学生のころ、お互いに挨拶をしなかった。	-.070	.392	.204	.124
	★小学生のころ、私は友人との会話の方が、母との会話より楽しかった。	-.111	.353	.005	.061
	小学生のころ、私は母のようになりたと思っていた。	-.032	.023	.860	.180
母への憧れ	小学生のころ、私は母がすることを真似したがっていた。	-.139	-.019	.769	.286
	小学生のころ、私は母に自分の気持ちを打ち明けられた。	.329	.223	.359	.298
期待に応える	小学生のころ、私は母の期待に応えたかった。	-.047	.131	.246	.449
	★小学生のころ、母は、理不尽なことで叱ったり怒ったりした。	.298	.165	.196	-.382
	★小学生のころ、母は些細な失敗で私をひどく責めた。	.240	-.019	.366	-.376

★逆転項目

当初はコミュニケーション、共行動、信頼関係の3因子に設定していたが、因子分析を行った結果、4因子構造が妥当であると判断した。「小学生のころ、夜は母と一緒に寝ていた」、「小学生のころ、買い物に行ったとき、買うものは母に決めてもらっていた」の2項目は因子負荷量が0.35未満のため、分析から削除した。第1因子では「小学生のころ、母は私が困ったとき、助けてくれた」、「小学生のころ、母は私の話を聞いてくれた」などの12項目から構成されており、親との心からの関係性がみられたため、「信頼」と命名した。第2因子では「小学生のころ、私は自分から母に話しかけた」、「小学生のころ、私は学校の話をした」などの9項目から構成されており、母とのコミュニケーションでの関係性がみられたため、「会話」と命名した。第3因子では「小学生のころ、私は母のようになりたと思っていた」、「小学生のころ、母がすることを真似したがっていた」などの3項目から構成されており、母を理想としていることがみられたため「母への憧れ」と命名した。第4因子では「小学生のころ、私は母の期待に応えたかった」、「小学生のころ、母は、理不尽なことで叱ったり怒ったりした」などの3項目で構成されており、母の望みに応えたいということがみられ「期待に応える」と命名した。

2. 児童期（小学生）の母子密着についての信頼分析

児童期（小学生）の母子密着尺度の4因子の平均、SD、 α 係数を算出した。その結果

を表4に示した。

表4 母子密着の信頼分析

	平均	SD	α
信頼	4.013	.736	.908
会話	4.108	.567	.788
母への憧れ	3.083	1.050	.744
期待に応える	3.820	.792	.391

「信頼」は平均値=4.013、SD=0.736であり、「会話」は平均値=4.108、SD=0.567であった。「母への憧れ」は平均値=3.083、SD=1.050であり、「期待に応える」は平均値=3.820、SD=0.792であった。また、これらの信頼性を確認するために α 係数を算出したところ、「信頼」では $\alpha=0.908$ 、「会話」では $\alpha=0.788$ 、「母への憧れ」では $\alpha=0.744$ 、「期待に応える」では $\alpha=0.391$ となった。このように、上位3因子の「信頼」「会話」「母への憧れ」では信頼性がみられたが、下位因子の「期待に応える」は信頼性はみられなかった。

3. 過去と現在の母子密着の相関係数

児童期と現在の相関係数の結果を表5に示した。

表5 過去と現在の母子密着の相関係数

	現在の母子密着				期待に応える
	密着	信頼	会話	母への憧れ	
現在の母子密着	1	-.705	-.451	-.509	-.511
信頼		-	.576	.610	.571
会話			-	.449	.402
母への憧れ				-	.530
期待に応える					-

今回児童期の母子密着尺度ではあてはまらない(1)からあてはまる(5)、現在の母子密着尺度ではあてはまる(1)からあてはまらない(7)と尺度評定が反対であったため、マイナスの値が高いほど母親への密着度が高いと示している。

「現代の母子密着」と「信頼」「会話」「母への憧れ」「期待に応える」それぞれに負の相関が見られ、「信頼」は($r=-.705, p>.01$)、「会話」は($r=-.451, p>.01$)、「母への憧れ」は($r=-.511, p>.01$)、「期待に応える」は($r=-.511, p>.01$)となった。そして「信頼」と「会話」「母への憧れ」「期待に応える」にはそれぞれ正の相関が見られ、「会話」は($r=.576, p<.01$)、「母への憧れ」は($r=.610, p<.01$)、「期待に応える」は($r=.571, p<.01$)となった。「会話」と「母への憧れ」「期待に応える」にはそれぞれ正の相関が見られ、「母への憧れ」は($r=.449, p<.01$)、「期待に応える」は($r=.402, p<.01$)となり、そして、「母への憧れ」と「期待に応える」は正の相関が見られた($r=.530, p<.01$)。

考 察

1. 児童期の母子密着尺度について

今回作成した各質問項目について平均値と標準偏差を算出した結果、天井効果がみられた。このことから、多くの被調査者が児童期に良好な母娘関係を築いていたことが考えられる。

グループで想定していた「信頼関係」「共行動」「言語的コミュニケーション」の3つの下位尺度の因子構造を因子分析したところ、想定していたものとは異なり支持されなかった。分析後の結果は「信頼」「会話」「母への憧れ」「期待に応える」の4つの下位尺度の因子構造となった。このようになった理由は、被調査者の多くが児童期に母親と一緒に行動することを当たり前と感じているため、このことよりも一緒に行動することから生まれる母親への「信頼」「会話」「母への憧れ」を感じたからだと考えられた。また、「共行動」を当たり前と感じていることから、児童期から母娘関係に強い結びつきがあると考えられ、この結びつきによって児童期の母子密着度が高くなり、現在の母子密着度も高くなったのではないかと考えられた。

2. 児童期と現在の母子密着の関連について

続いて児童期と現在の母子密着尺度の相関係数を求めた結果、負の相関が出た理由は児童期の母子密着尺度はあてはまらない(1)からあてはまる(5)までの5件法で構成し得点が高いほど値が高くなるが、現在の母子密着尺度は大変そう思う(1)から全くそうは思わない(7)までの7件法で構成されており、そのまま使用したため得点が高いほど値が低くなったことが原因だと考えられた。そのためマイナスの値をプラスとして見た場合、「信頼」は強い相関がみられ「会話」「母への憧れ」「期待に応える」は中程度の相関がみられた。このことから、児童期の母子密着度が高いほど、現在の母子密着度も高く、特に、児童期の母に対する信頼の高さが、現在の母子密着度の高さに影響していると考えられる。

今後の課題

今回現在の母子密着尺度が大変そう思う(1)から全くそう思わない(7)までの7点尺度で構成されており、児童期の母子密着尺度はあてはまらない(1)からあてはまる(5)までの5点尺度で構成されていたことが原因で負の相関が出た。そのため、次回は大変そう思う(1)から全くそう思わない(7)と、あてはまる(1)からあてはまらない(5)として相関を出したい。

また、 α 係数を出す際に、友人と母親といった純粋に比較できない項目を含まないようにすることや他に各因子に当てはまる項目を増やし、 α 係数が0.8に満たない場合削除することができるようにするなど、項目の選択についても考えていきたい。

引用文献

- Bowlby, J. (1969) Attachment and loss. Vol.1. Attachment. New York: Basic Books. (黒田実朝ほか訳 1976 母子関係の理論1 岩崎学術出版社)
- Fischer, L.R. (1991) Between mothers and daughters. *Marriage & Family Review*, 16, 237-248
- Gleason, N.A. (1991) Daughters and mothers: College women look at their relationships. In J.V. Jordan, G.A. Kaplan, J.B. Miller, I.P. Stiver, & J.L. Surrey (Eds.), *Women's growth in connection* (pp.132-140). New York: The Guilford Press.
- 久保田 まり (1993) 対人関係の表象モデル—内的ワーキング・モデルという概念について— 秋田経済法科大学法学部紀要, 18, pp.21-43.
- 水本 深喜・山根 律子 (2010) 青年期から成人期への移行期の女性における母親との距離の意味: 精神的自立・精神的適応との関連性から, *発達心理学研究* 第21巻 第3号, pp.255-256
- 丹羽 智美 (2008) 幼児期・児童期前期の親子の相互作用と青年期での親への愛着の関係, *名古屋大学大学院発達科学研究科紀要 心理発達科学*, pp.195-200
- 上西 幸代 (2000) 子どもの自立に対する母親の意識 についての一考察, *大阪大学教育学年報*, 第5号, pp.113-124
- 上西 幸代 (2002) 母親の態度変化からみた母子関係の発達変化に関する一考察, *大阪大学教育学年報*, 第7号, pp.121-130
- 山田 順子 (1988) 青年期の母子関係 *心理学評論*, 第31巻 第1巻, pp.88-100

参考文献

- 藤田ミナ・岡本祐子 (2009) 青年期における母子関係とアイデンティティとの関連, *広島大学大学院心理臨床教育研究センター紀要* 第8巻, pp.121-122
- 藤田ミナ・岡本祐子 (2010) 青年期後期における娘のとらえる母親との関係性, *広島大学心理学研究* No.10, pp.201-216

女子大学生の児童期（小学生の頃）の母娘 関係についての意識調査のお願い

本日は調査にご協力いただき、ありがとうございます。

この調査は、大学生が日常生活を営む中でどのように考え、行動するかを調べるために行うものです。正しい答えや、間違った答えというものはありません。思った通りに教えてください。

この調査は2つのパートで構成されています。また、表紙をあわせて6枚からなっていますので、乱丁・落丁がありましたら申し出てください。

結果はすべて統計的に分析され、プライバシーは守られますので、思ったままに率直にお答えください。

それぞれの質問をよく読み、全ての質問について教えてください。回答もれのないようにお願いします。

まず、以下の欄を記入してください。

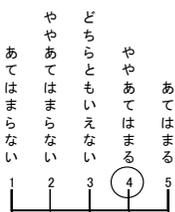
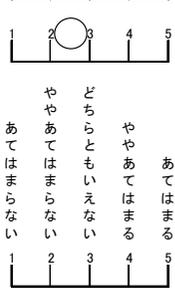
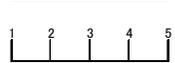
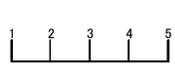
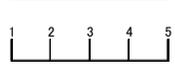
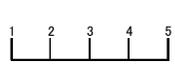
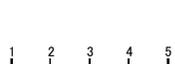
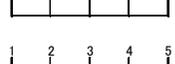
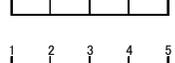
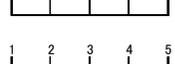
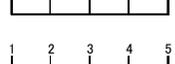
年齢（ _____ ） 歳

集計結果は授業担当教員(安立奈歩)のホームページに公表予定です。興味をもたれた方は <http://www.hs.sugiyama-u.ac.jp/~adachi/> にアクセスして「学生の論文・研究」をご覧ください。

椋山女学園大学人間関係学部心理学科 演習 I
B 班

1.以下の項目について、あなた自身にどの程度あてはまるかをお答えください。

あなたの児童期のころ(小学生のころ)を思い返して、あなた自身がどのように思っているかを、ありのままにお答えください。

<p>例: 楽天的である</p> <p>○ よい回答</p> <p>× 悪い回答</p>	<p>.....</p> <p>.....</p>	
<p>1. 小学生のころ、母は私の話を聞いてくれた。</p> <p>2. 小学生のころ、私は母の手伝いをした。</p> <p>3. 小学生のころ、母と一緒に遊んだ。</p> <p>4. 小学生のころ、母は私の考えを理解していた。</p> <p>5. 小学生のころ、買い物に行ったとき、買うものは母に決めてもらっていた。</p> <p>6. 小学生のころ、母は私が困ったとき、助けてくれた。</p> <p>7. 小学生のころ、一緒に買い物に行っていた。</p> <p>8. 小学生のころ、母は私が病気のとき、看病してくれた。</p> <p>9. 小学生のころ、一緒に出かけることが少なかった。</p> <p>10. 小学生のころ、私は母がすることを真似したがっていた。</p>	<p>.....</p>	         

- | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|-------|---------|---|---|---|---|---|-------|
| 11. 小学生のころ、私は母に自分の気持ちを打ち明けられた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 12. 小学生のころ、母は私が嫌いなものを理解していた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 13. 小学生のころ、母は私が欲しいものや食べたいものを理解していた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 14. 小学生のころ、母は励ましの言葉をくれた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 15. 小学生のころ、私は母の期待に応えなかった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 16. 小学生のころ、私は自分から母に話しかけた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 17. 小学生のころ、母は些細な失敗で私をひどく責めた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 18. 小学生のころ、夜は母と一緒に寝ていた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 19. 小学生のころ、私は学校の話をした。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 20. 小学生のころ、母は私がすることを受け入れてくれた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 21. 小学生のころ、母は、理不尽なことで叱ったり怒ったりした。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 22. 小学生のころ、私と母の会話は途切れやすかった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 23. 小学生のころ、私は友人との会話の方が、母との会話より楽しかった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 24. 小学生のころ、お互いに挨拶をしなかった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 25. 小学生のころ、母との会話は楽しいものだった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 26. 小学生のころ、母は私の学校の準備を手伝ってくれた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 27. 小学生のころ、私は母のようになりたいと思っていた。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 28. 小学生のころ、母と私はぎこちない会話だった。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |
| 29. 小学生のころ、私は友人の話をした。 | | あてはまらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あてはまる |

2. 以下の項目について、あなた自身にどの程度あてはまるかをお答えください。
現在のあなた自身について、ありのままにお答えください。

- | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-------|--------|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| 1. 私が衣服を買う時には母がついて来てくれることが良くある。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 2. 私は買い物などに母と一緒に出かけることが良くある。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 3. 外に出ているとき母と電話で連絡を取ることが良くある。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 4. 私は小学校時代は母と一緒に風呂にはいることが良くあった。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 5. 私は母を一人占めしたいと思うことがある。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 6. 私は母を失ったら生きる力をなくしてしまうと思う。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 7. 私は部屋へ母が入ってきてても別に気にならない。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 8. 母は私の友達のことを良く知っている。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 9. 私と母はよく似ていると言われる。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 10. 私の大学での入学式には母がついて来ようとした。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 11. 私は母にしかられると悪いなと思う。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 12. 母は、私のことを常に思ってくれている。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 13. 私は母に何かを頼まれたら断りづらい。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 14. 私が考えていることを母はよく知っている。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |
| 15. 私は母の顔を見ると何となく安心できる。 | | 大変そう思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 全くそう思わない |

